

Summer School '21

■ 8月20日（金）曇り時々雨

午前中は「原爆被爆者の会都城北諸支部（坂元浪男支部長）」から坂元さんをはじめ4名の方に来ていただいて、被爆体験談を聞かせていただきました。

まず最初に、15歳の時に長崎で被爆された竹元さんが、自分史の中で被爆体験について書かれた文を読んでもらいました。そこには被爆からその後の凄惨な様子が事細かく記されていました。

次に、やはり長崎で被爆された坂元さん（91歳）の被爆体験のお話がありました。特に戦時中の子供の学校や家庭での生活の様子は印象深いものがありました。

また、従軍看護婦として広島で多くの被爆者の看護をされた竹山さん（96歳）が何度も何度もおっしゃっていた「あんな時代がみなさんに来ないように祈っています」という言葉が頭から離れません。

最後に坂元さんは「これからも平和の大切さを語り継いでいきたい」とおっしゃっていました。持ってきてくださった多数の原爆のパネルはしばらく貸して下さることになり、子供たちは一枚一枚神妙な面持ちで見っていました。



■ 8月24日（火）の予定

◎終日…自然体験活動「童夢の森」 ※9時30分出発予定です。

◎持ってくる物…ファイル、弁当（注文不可）、水筒、敷物、水着一式、サンダル

通信欄（連絡事項等をお書き下さい。）